

石川県スポーツ少年団剣道交流大会 コロナ対策大会ガイドライン

石川県スポーツ少年団

1 大会を開催するにあたって

大会の開催に際しては、選手を中心とした関係者全員の安全安心を最優先し、実施の可否等について慎重に判断し、実施する場合は十分な感染防止対策を行うこととする。

- (1) 大会が開催される場所の適切な感染予防対策等の実施
- (2) 密閉空間・密集場所・密接場面等の感染リスクが高い状況への回避
- (3) 感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力

2 大会の参加者に対して

(1) 選手心得

- 大会参加に当たっては、全ての選手が次の書類を提出すること。
 - ・ 1週間前から健康状態を確認し、保護者が署名した「体調管理チェックシート」
 - ・ 参加同意欄に保護者が署名・捺印した「大会当日の健康チェック表兼同意書」
- 全ての選手・引率者・役員を問わず、マスク（通常のマスク及び競技中は面マスク）とタオルを持参し、会場内ではできる限りマスクを着用し、手洗い等の際は自分のタオルを用いること。
- こまめな手洗い、手指消毒を実施すること。
- できる限り他の人との距離を確保すること。
- コップ等の使い回しやペットボトルの回し飲みの禁止など周知徹底する。
- ゴミは感染防止のため、各自で持ち帰ること。
- 応援は拍手のみとする。
- 体調が良くない（風邪症状がみられる）場合、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に渡航又は当該在住者との濃厚接触者は、大会に参加しないこと。

(2) 引率の先生方をお願いしたい指導事項

- 引率者は、会場に入場する選手、保護者等から「大会当日の健康チェック表兼同意書」、大会1週間前から健康状態を確認した「体調管理チェックシート」を回収し、「大会当日の健康チェック表（団体用）」とともに受付に提出する。
- 上記「選手心得」をよくお読み頂き、選手に実践するようご指導ください。
- 施設内ではマスクを着用して下さい。
- ミーティング等も短い時間で行い、密にならないようご指導ください。

3 試合について

(1) 試合者について

- 試合規定は、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則並びに細則および大会の特別

石川県スポーツ少年団剣道交流大会 コロナ対策大会ガイドライン
ルールにより実施する。特別ルールは、大会要項を参照する。

- 全日本剣道連盟のガイドラインに基づき、選手は必ず「面マスク」と「シールド」を着用する。
- ※「面マスク」は呼吸障害を起こさないよう、通気性のあるものが望ましい。
- ※「シールド」についてはマウスシールドが必須。アイガードについては希望者に限る。
- 試合中に面マスク等による呼吸困難や体調に異変を感じた場合は、すぐに審判員に対し中止要請をする。状況によっては、大会本部から試合中断（棄権）の判断を下す場合がある。
- 竹刀検量は行わない。事前に各団体で竹刀の点検を実施する。

(2) 審判員について

- 審判については、マスク着用を義務づける。
- 試合規定は、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則並びに細則および大会特別ルールにより実施する。特別ルールは、大会要項を参照する。
- 審判員は、試合者の中止要請がない場合でも、様子がおかしいときには「やめ」をかけて体調を確認し、休憩要請があれば適時休憩をさせる。

4 大会運営について

(1) 手洗い場及びトイレ

- 手洗い場及びトイレについては、ポンプ型の手洗い石鹸を設置する。
- ドアノブ・水洗トイレのレバー等についてはこまめに消毒を行う。

(2) 更衣室・待機スペース・練習会場

- 換気扇を常に回す、窓を開ける等の換気を常に行う。
- 大会用更衣室は設けないので、自宅等で着替えて来場する。

(3) 大会会場の管理・運営

- 三密への対策として、来賓は呼ばず、役員や審判員も極力少ない人数で行う。
- 試合前の練習（アップ）は時間帯を指定するなど、密にならないように配慮する。
- 会場の窓、扉等を開放し、常に換気に努める。
- 受付では「大会前体調管理チェックシート」「大会当日の健康チェック表兼同意書」「大会当日の健康チェック表（団体用）」を回収する。体調不良者の入場を禁止する。並び方も、密にならないよう留意する。
- 体調不良者等が出た場合に対応するため、大会中は看護師の配属を要請する。
- 大会会場へ入館するすべての者は、入口で検温・消毒を行う。
- 報道関係者、写真業者の入場は認める。ただし、大会ガイドラインを渡し、遵守させる。
- このガイドラインは、石川県や全剣連・県剣連の通知および今後の知見の集積や感染状況等により、逐次見直すことがある。

5 大会前後に関係者から感染者等が発生したときの対応について

- 団体内で感染者が発生した場合、引率・選手ともに濃厚接触者となるため、大会への参加を辞退する。
- 団体内で濃厚接触者が発生した場合、濃厚接触者は自宅待機とし、それ以外の引率・選手で試合に参加することは可能とする。
- 大会中及び大会後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、引率者が大会本部へ速やかに報告すること。濃厚接触者への対応として、受付時に提出した「健康チェック表」等は大会終了後、個人情報の取り扱いを十分に注意して、大会本部で1ヶ月間保管する。

6 大会中止の要件について

- 緊急事態宣言が再発令された場合。
- 県教育委員会等により全県に休校措置が講じられた場合。
- 会場の使用制限等、関係諸機関の指示により大会開催が不可能となった場合。
- 大会運営に支障を来す事態が生じた場合。